

普通作／水稻、小麦、大豆、ブロッコリー／作物の変化

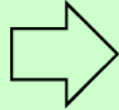
特別栽培米やブロッコリーなど、特産品の生産拡大に貢献する取組 ～農事組合法人 静里営農（岐阜県大垣市）～

経営体の概要

事業実施前：平成20年

基幹作物：水稻、小麦、大豆

経営面積： 48.8ha



現在：平成30年

基幹作物：水稻（主食用米）、小麦、大豆、
ブロッコリー

経営面積： 50.4ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

国営事業により用水の安定供給が行われている本地域において、集落営農組合として水稻、小麦、大豆のブロックローテーションを担ってきたが、平成27年に法人化し、更なる経営安定を実現している。

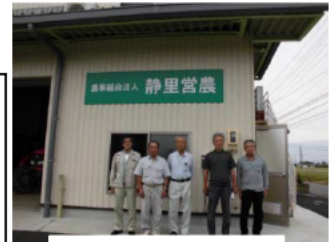
れんげをすき込むことで化学合成肥料を減らすとともに、節減対象農薬使用量を抑えた特別栽培米の生産や市が特産品として力を入れるブロッコリーの作付けに積極的に取り組み、地域の特産品の生産拡大に寄与している。

営農改善のポイント

①省力化・低コスト化の取組

水稻作で、田植えと同時に側条施肥と除草剤施用を行っている。また、毎年、湛水直播栽培の確立を目指して作付けを継続し、作業の省力化と分散化を行っている。

小麦の防除作業は、乗用管理機を導入し効率化している。



理事の皆さま

②特産品の積極的な導入

農協がブランド米「れんげのかおり」として扱う特別栽培米や、地場野菜を学校給食に提供したいとの思いから、他の経営体とともに、市が特産品として力を入れるブロッコリーの作付けに積極的に取り組み、売上を確保し経営安定を図るとともに、地域の特産品の生産拡大に寄与している。



れんげ米耕起

③耐用年数を超えた農業機械の活用

トラクター等の機械を耐用年数を超えて長く使用し、多くの機械を保有することで、機械のトラブル発生時にも作業が滞らないようにするとともに、作業の分散を実現している。また、常勤職員がいない中、結果として皆で作業ができることで、連帯感が生まれている。



トラクター

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：大垣市、養老町、垂井町、神戸町、
揖斐川町、大野町、池田町

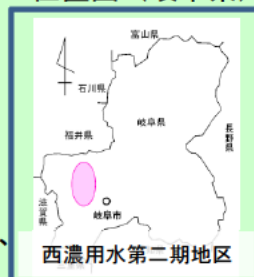
受益面積：5,342ha

事業期間：平成21年～平成26年

事業目的：用水改良

主要工事：頭首工改修1箇所、用水路改修L=4.0km、
水管理施設改修

位置図（岐阜県）



<問い合わせ先>

東海農政局

農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）

電話：052-223-4638

（平成30年度調査時点）